

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

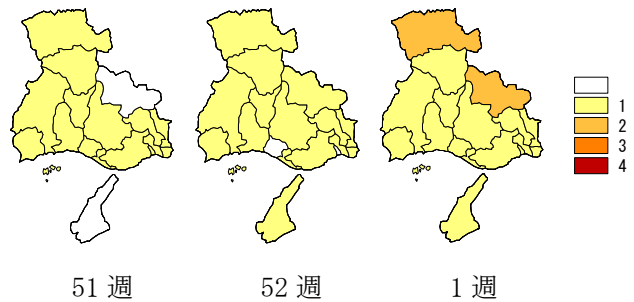
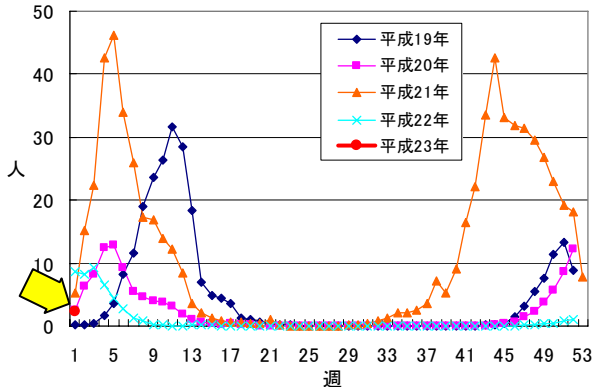
インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **2.33人**(先週は0.98人)と増加し、全国的な流行開始の指標である定点あたり患者数1.00人を上回りました。患者の年齢分布は10歳未満39%、10歳代13%、20歳代20%、30歳代11%、40歳代9%、50歳以上7%となっています。全国的には北海道、福岡県、沖縄県に警報レベル(定点あたり30人以上)の保健所があり、上記3道県以外では宮城県、千葉県、愛知県、大阪府、長崎県など16府県に注意報レベル(定点あたり10人以上)の保健所があります。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

全国で検出報告されたインフルエンザウイルスは、第49週以降新型インフルエンザ(AH1pdm)が増加し、A香港型(AH3亜型)の検出報告数を上回っています。

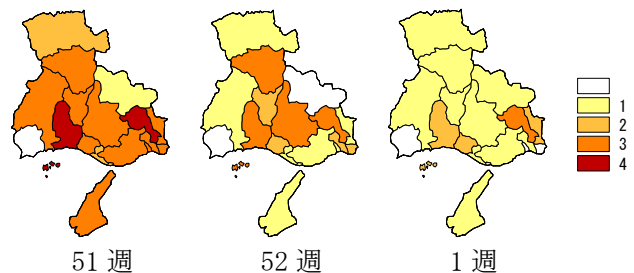
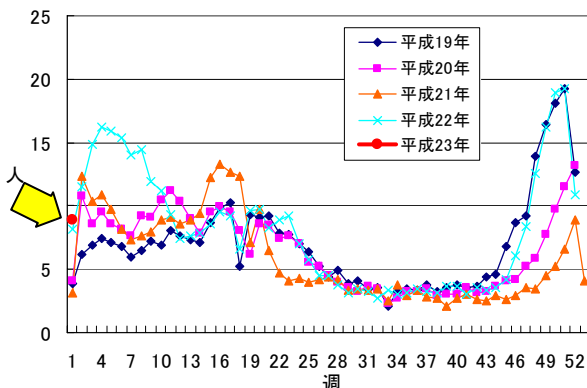
インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **8.88人**(先週は10.88人)と減少しました。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。

感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況(県内)



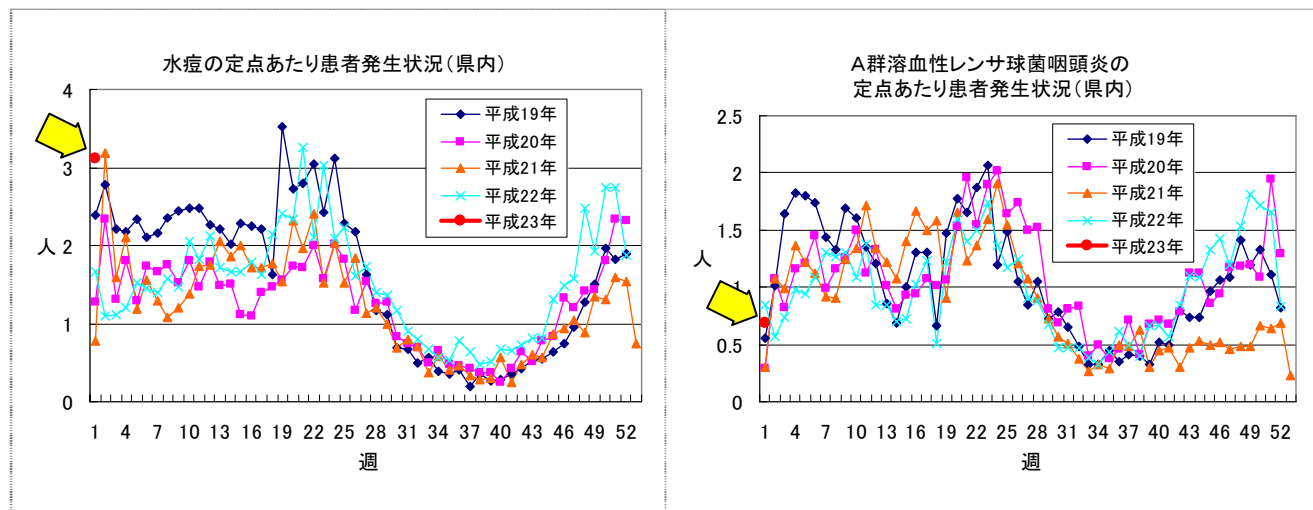
定点あたり患者数の上位10位の疾病

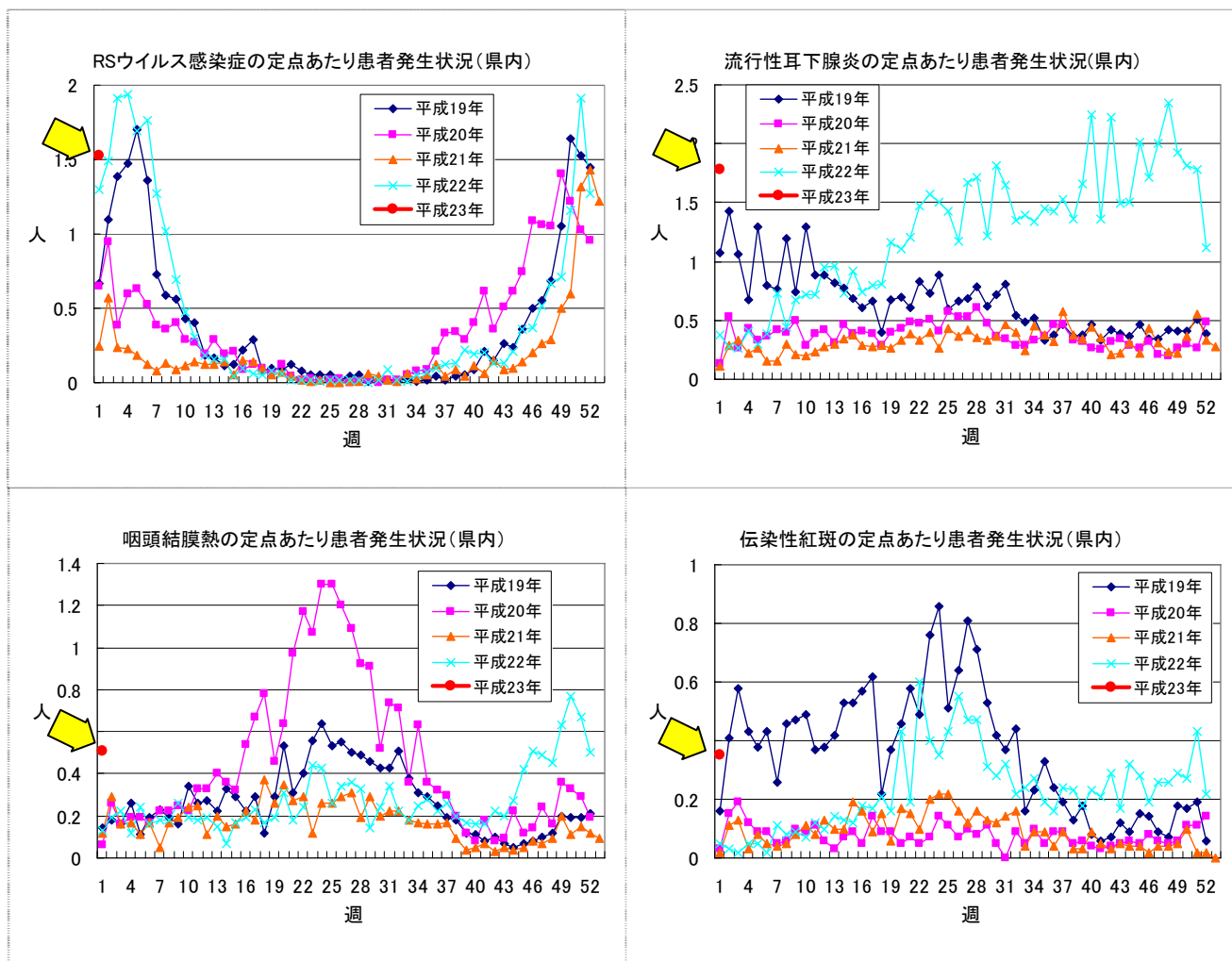
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	8.88	10.88	-2.00	6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.69	0.83	-0.14
2位	水痘	3.12	1.88	+1.24	7位	流行性角結膜炎	0.69	0.23	+0.46
3位	インフルエンザ	2.33	0.98	+1.35	8位	咽頭結膜熱	0.51	0.50	+0.01
4位	流行性耳下腺炎	1.78	1.12	+0.66	9位	伝染性紅斑	0.35	0.22	+0.13
5位	RSウイルス感染症	1.53	1.27	+0.26	10位	突発性発しん	0.28	0.33	-0.05

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 23名 （神戸市17名、尼崎市2名、西宮市1名、伊丹保健所管内3名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	報告はありません。
追加報告	結核 3名 （姫路市1名、加古川保健所管内2名）、 ウイルス性肝炎 1名 （西宮市；B型 女性50歳代 感染地域；国内、感染経路；異性間性的接触）

目で見える動向（県内）





この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。